

＜抄録作成時の注意点＞

令和5年2月4日改正

1-1 学術大会（支部を含む）の発表に関して

発表に関しては以下の申し合わせに従ってください。

1. 発表の内容は、本部学術大会および支部学術大会あるいは他学会で発表済みあるいは発表予定でないものに限りません。
2. 演者が発表者となります。
3. 抄録が採択された後には演者の変更をすることは認められません。発表予定者が事情（病気、忌引き、大学公務等）により学会に参加できない場合にのみ、共同演者が発表を代行することができます。その場合には事前に理事長宛の理由書を学会事務局に提出し、了承を得てください。ただしその発表は共同演者の実績となり、主演者の実績にはなりません。また、共同演者や代理の者がいなかった場合で事前に理由書を提出して了承を得ていても、主演者の発表の実績にはなりません。この場合は下記5の項目は適用されません。
理由なき演者変更の場合や指定時間までにポスター掲示がなされていない場合には演題取り下げとなります。こちらについては下記5の項目も適用されます。
4. 抄録の採択後に、発表を取り下げすることはできません。共同演者がある場合には必ず代わって発表を行ってください。単独により発表ができない場合には、理事長宛の理由書を学会事務局に事前に送付して、許可を得てください。
5. 上記の手続きを経ずに取り下げた場合、あるいは学会当日に発表されなかった場合には、その後の本部学術大会および支部学術大会における発表を1年間許可しません。
6. 口頭発表（優秀研究発表・一般口演）とポスター発表では筆頭演者としては併せて1演題のみになります。
7. 演者数は筆頭演者を含め8名までとし、多施設にわたる疫学調査・研究のみ12名までとします。（ただし同一大学内での複数教室・講座は多施設には含みません）
8. 発表言語は、日本語および英語とします。ただし、発表時に使用する言語は、抄録に使用した言語に準じてください。なお日本人の発表者の場合は抄録の言語は原則日本語のみで、留学生など海外からの会員の場合は抄録の言語を英語でも可とします。

1-2 抄録について

1. 投稿された抄録は査読委員会が査読し、受理あるいは修正、不受理を判定します。査読はブラインドで行います。発表者が類推できる内容が含まれないようにご注意ください。特に研究倫理について記載する際は、具体的な大学名、施設名の記載は避け、「本大学倫理委員会の承認を得た」のように記載してください。
2. 抄録のタイトルに商品名は使用できません。
3. 動物実験については、倫理委員会の承認（承認番号含む）を受けていることを抄録ならびにスライド、ポスターに明記してください。
4. 臨床研究においては、倫理委員会の承認（倫理審査委員会番号および承認番号含む）ならびに被者の同意を得ていることを抄録、スライド、ポスターに明記してください。
なお、審査はブラインドで行われますので、抄録には所属機関や委員会の名称は記載せず、
動物実験の場合：動物実験委員会承認 承認番号〇〇号
臨床研究の場合：倫理審査委員会番号 11000694 承認 承認番号△号
のように記載してください。倫理審査受審が必要かどうかについては学会ホームページ
(https://www.shika-implant.org/coi/ethics_sample.html)にて確認してください。

倫理審査委員会番号が分からない場合は、倫理審査を受けた審査委員会に尋ねるか
<https://rinri.niph.go.jp/PublicPage/publictoppage.aspx>

で検索してください。なお、日本口腔インプラント学会倫理審査委員会の番号は11000694です。

5. 症例報告や臨床の提案・工夫で単一症例を発表する場合においても、対象患者の同意を得ていることを抄録ならびにスライド、ポスターに明記してください。また、通常の医療を超えた処置または検査（研究を意図する医療行為）を行う場合には倫理審査の受審が必要です。通常の医療とは、少なくとも以下の(1)～(3)の行為を行わない診療とします。
 - (1) 未承認または適応外の医療機器・医薬品を使用する医療
 - (2) 経過観察のための頻回なCT検査など
 - (3) 研究意図を持って採取した組織を解析診断する医療
 発表を検討している内容が、倫理審査受審が必要かどうかについては上記学会ホームページにて確認してください。
6. 抄録の内容が不適正あるいは記載要領を満たしていない場合は、査読委員会の判断をもって修正を依頼する場合があります。なお、変更が適切に行われなかった場合には、採択できない場合もありますのでご了承ください
7. 抄録は学会誌特別号に事後抄録として掲載されます。
8. 抄録が受け付けられた後の、演者ならびに発表内容の変更はできません。

1-3 共通の注意事項

抄録記入の注意事項

1. 表題：(1)表題において副題を用いる場合は、必ず2行目へ改行してください。
 (2)表題に「第〇報」は使用しないでください。内容のわかる副題で対応してください。
 (3)表題には、商品名を用いしないでください。
 (4)以下に略語を例示した用語は、表題・本文中ともこの略語を使用してください。それ以外の略語については使用しないでください。

表題使用可能略語一覧

略語	正式名	日本語説明
AED	Automated external defibrillator	自動体外式除細動器
ARONJ	Antiresorptive agents-related osteonecrosis of the jaw	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死
BOP	Bleeding on probing	プローピング時の出血
BRONJ	Bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw	ビスフォスフォネート関連顎骨壊死
CAD	Computer-aided design	コンピュータ支援設計
CAM	Computer-aided manufacturing	コンピュータ支援製造
CBCT	Cone-beam CT	コーンビームCT
CEJ	Cemento-enamel junction	セメントエナメル境
CT	Computer tomography	コンピュータ断層撮影
DICOM	Digital imaging and communication in medicine	ダイコム
DNA	Deoxyribonucleic acid	デオキシリボ核酸
EBM	Evidence based medicine	根拠に基づいた医療
Er:YAG レーザー	Er:YAG laser	エルビウムYAGレーザー
ES細胞	Embryonic stem (ES) cells	胚性幹(細胞)
FKMG	Free keratinized mucosal graft	遊離角化粘膜移植術
GBR	Guided bone regeneration	骨再生誘導法
GTR	Guided tissue regeneration	組織再生誘導法
HA	Hydroxyapatite	ハイドロキシアパタイト
iPS細胞	Induced pluripotent stem cell	人工多能性幹細胞
ISO	International organization for standardization	国際標準化機構

MRI	Magnetic resonance imaging	磁気共鳴撮像法
MRONJ	Medication-related osteonecrosis of the jaw	薬剤関連顎骨壊死
MTM	Minor teeth movement	限局矯正
Nd:YAG レーザー	Nd:YAG laser	ネオジウム YAG レーザー
PT-INR	Prothrombin time-international normalized ratio	止血機能検査・プロトロンビン時間－国際標準化比
PMTc	Professional mechanical tooth cleaning	専門的機械的歯面清掃
QOL	Quality of life	クオリティ オブ ライフ
RNA	Ribonucleic acid	リボ核酸
OHI	Oral hygiene instruction	口腔清掃指導
TCP	Tricalcium phosphate	リン酸三カルシウム

その他、一般的な成長因子（BMP, FGF, TGF- β 等）は略語として表題に使用可能です。

2. 所属：(1) 大学に在籍の場合：所属されている大学の教室または講座名を記入してください。
(2) 病院に在籍の場合：所属されている病院名または科名を記入してください。
(3) それ以外の場合：所属されている研修施設名（学会が指定している研修施設に限る）、所属されている企業名（賛助会員に限る）、または支部名（下記(4)を参照）を記入してください。個人の歯科医院名の記載はしないでください。
(4) 東北・北海道支部 英文表記 Tohoku-Hokkaido Branch
関東・甲信越支部 英文表記 Kanto-Koshinetsu Branch
中部支部 英文表記 Chubu Branch
近畿・北陸支部 英文表記 Kinki-Hokuriku Branch
中国・四国支部 英文表記 Chugoku-Shikoku Branch
九州支部 英文表記 Kyushu Branch
3. 本文：(1) 本部学術大会の演題登録システムでは、特殊文字などについて、演題登録システム用の入力記号を用いていない場合は、エラーとなる場合がありますのでご注意ください。確認画面（PDF プレビュー）で適切に表示されているか必ず確認してください。
(2) 句読点は全角のピリオド〔.〕とコンマ〔,〕を用いてください。（半角句読点＋半角スペースは不可、1,000 など桁区切りのコンマのみ半角の使用可）
(3) 英数字はすべて半角としてください。
(4) 文字数は日本語の場合、最大 1000 字程度（全角）、英語の場合最大 300 ワード程度（半角 ※半角英数字 2000 字までの制限があります）を目安とし 70%以上の字数を満たしてください。
(5) I 目的, II 材料および方法, III 結果, IV 考察および結論 に沿って原則記載してください。必ず行頭に I 目的： , II 材料および方法： , III 結果： , IV 考察および結論： を記述し、その後ろに全角スペースを一マス分入れて本文を記述してください。英文抄録の場合、I Purpose: II Materials and methods: III Results: IV Discussion and conclusion: としてください。
(6) 症例報告に関しては「材料および方法」を「症例の概要」に、「結果」を「経過」に変更することを認めますが、他は(5)に準じてください。英文抄録の場合、「症例の概要」は、Outline of the case, 「経過」は Post treatment observation としてください。
(7) 疫学、調査報告に関しては、「材料および方法」を「対象および方法」とし、英文抄録の場合、「対象および方法」は「Materials and methods」としてください。
(8) 臨床での提案・工夫に関しては、I 目的： , II 症例の概要（または方法の概要）： , III 考察および結論 としてください。英文抄録の場合、「方法の概要」は、「Outline of the methods」としてください。
(9) 抄録本文内に謝辞は入れないでください。